

July 5, 2026

私たちは一つ エペソ 4:1-6

- 4:1 さて、主にある囚人の私はあなたがたに勧めます。あなたがたは、召されたその召しにふさわしく歩みなさい。
- 4:2 謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、
- 4:3 平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい。
- 4:4 あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです。
- 4:5 主はひとり、信仰は一つ、バプテスマは一つです。
- 4:6 すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父である神はただひとりです。

一、一致の命令

Otis Skillings という人が 1971 年に Bond of Love という賛美を作詞・作曲しました。

1. We are one in the bond of love;
We are one in the bond of love;
We have joined our spirit with the Spirit of God,
We are one in the bond of love.
2. Let us sing now everyone;
Let us feel His love begun;
Let us join our hands that the world will know,
We are one in the bond of love.

日本語では「私たちは一つ」というタイトルで教会福音讃美歌 450 番に収録されています。

1. 私たちは一つ 愛によって一つ

主の御霊につながれてる 私たちは一つ

2. さあ歌おう今 主の愛を受けて

手をつないで世に知らせよう 私たちは一つ

この賛美はヨハネ 13:34-35 のイエスのお言葉を歌ったものです。イエスはこう言われました。「わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」イエスを信じる者たちが、たとえどんなに熱心に伝道したとしても、また、様々な分野で活躍し社会に貢献したとしても、もし、互いにいがみ合ったり、争い合ったりしていたら、人々はその言葉に耳を傾けるでしょうか。「神は愛です」と、どんなに言われても、互いに愛し合っていない人たちからは愛の神を見ることはできないのです。

聖書は私たちに二つの愛の戒めを与えています。第一は「あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」で、第二は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」です（マルコ 12:30-31）。イエスはこれらの戒めを一番大切なものと言われましたが、そこにもう一つの「新しい戒め」を加えられました。それが「互いに愛し合いなさい」という戒めです。イエス・キリストを信じる者が「互いに愛し合って」、一つの信仰を保ち、一つの希望に生きること、それによって人々が「ほんとうに神は、あなたがたとともにおられる」と認めるようになること、それがイエス・キリストが望んでおられることなのです。

二、一致のみなもと

では、この「一致」はどこから来るのでしょうか。

イエスは「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と言われました。イエスが私たちを愛してくださったので、私たちも互いに愛し合えるのです。愛は、いつ、どんな場合でも、神から始まります。私たちが神を愛したから、神も私たちを愛してくださったのではありません。私たちはかつては、「神を憎み」（ローマ 1:30）、「人から憎まれ、互いに憎み合う者」（テトス 3:3）でした。イエスを十字架に追いやった罪の一つは「憎しみ」でした。「彼らはゆえもなくわたしを憎んだ」とイエスは言っておられます（ヨハネ 15:25）。しかし、そんな私たちをイエスは愛して、私たちが受けなければならなかった十字架の苦しみを、私たちに変わって引き受け、命を献げられたのです。「わたしがあなたがたを愛したように……」ここに私たちが互いに愛し合い、一致し合う理由があります。また、互いの愛と一致のみなもとがあります。

人は、愛されてこそ他の人を愛することができます。私は、結婚式を頼まれたとき、必要に応じてですが、前もって3回ほど、結婚するカップルと聖書から結婚についての教えを学び、最後にカップルの家族と一緒にリハーサルをしてきました。ホテルで行う豪華な結婚式もありましたし、近隣の公園でピクニックのようにして行った簡素な結婚式もありました。どちらかいうと簡素な式のほうが私の心に残っています。いずれの場合でも、準備のクラスはとても順調に進みました。結婚を前にしたカップルはうれしくてしょうがありませんから、私の話すことを素直に聞いてくれました。人は誰かに愛されていると

き、また、その愛を感じるとき、心を開き、お互いを受け入れあい、また神の言葉にも心を開くものです。

私は結婚準備のクラスで、三角形を描き、頂点に「神」、右下に「夫」、左下に「妻」と書いて、こう説明しました。「夫も、妻も、それぞれ天におられる神に近づけば近づくほど、お互いもまた近づくことができます。」このことは夫と妻だけに限らず、どの人間関係にも当てはまります。お互いがより神に近づき、神の愛に満たされていけば、互いがもっと愛し合い、近づき、やがて神にあって一つとなることができるのです。

神の愛を受けない限り、私たちは決して一つになることはできません。私たちは、キリストの恵みと聖霊の助けなしには神に近づくことができないからです。エペソ 4:2-3 に「謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい」とあります。謙遜も、柔和も、寛容も、愛も、忍耐も、平和も、みな「御霊の実」です。一致を保つこれらのものは聖霊によってしか得ることができません。ですから、私たちの一致は「御霊による一致」、聖霊が生み出し、聖霊が保ってくださいる一致なのです。

私たちは礼拝に集まり、ここで愛の神を仰ぎ、その愛を受けています。救い主イエス・キリストを仰ぎ、その恵みをいただいています。そして、聖霊の命と力とを注がれています。そのようにして私たちは、「互いに愛し合いなさい」との、主イエスの愛の戒めに生きるものとされ、「一つ」とされていくのです。「わたしたちは一つ」の賛美はたんに「みんな仲良くしましょう」というだけの歌ではありません。“We have joined our spirit with the Spirit of God.” それは聖霊によって結び合わされた

一致を歌っています。「御霊による一致を熱心に保ちなさい。」この御言葉をしっかりと覚えておきたいと思います。

三、一致への道

さて、聖書は私たちに一致を求めています。それは、それぞれの個性を消し去って、誰もが機械のように同じことをすることではありません。もし、教会がそんなところなら、それは教会ではなく、カルト集団になってしまいます。「一つ」であることはみんなが「同じ」になることではありません。クリスチャンはキリストのからだで、「一体」です。けれども、からだは「一つ」でも、そこにはたくさんの器官があって、それぞれ違った役割を果たしています。聖書には、「もし、からだ全体が目であつたら、どこで聞くのでしょうか。もし、からだ全体が耳であつたら、どこでおいを嗅ぐのでしょうか」（コリント第一 12:17）とあります。教会に集まる人は、みな、それぞれに違った背景を持ち、また、違った境遇の中で生きています。アメリカでは、人種や言葉さえも違っています。そんな私たちですが、互いに理解し合い、受け入れ合い、そして、足りないところを補い合って「一つ」のキリストのからだになるのです。それがクリスチャンの「一致」です。

クリスチャンの一致は、また、家族の中にある一致だということができます。きょうの箇所は6節に、「すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父である神はただひとりです」とあるように、神は、お「一人」です。“God is one”ですが、けっして“God is lonely”、「孤独」なお方ではありません。神は「父」と呼ばれています。御子をお持ちだからです。神は「家族」的

な方なのです。父、御子、御霊は聖なる家族です。そして、神はご自分の家族に、御子イエスを信じる者を加えてくださったのです。父なる神は、私たちを聖霊によって、ご自分の子どもとして生み、神の家族に受け入れてくださいました。キリストを信じる者たちは、ひとりの父から生まれた兄弟姉妹として一つに結ばれているのです。

神は、この神の家族をモデルにして、地上に様々な「家」、「家族」を造ってくださいました。結婚によって造られる家族もあれば、志を一つにする人々の集団もあります。紀元前の中国にはさまざまなグループがあって「諸子百家」と呼ばれました。老子、荘子の「道家」、韓非の「法家」、墨子の「墨家」など、どれも「家」、ファミリーと呼ばれています。

また、国も「国家」と呼ばれ、一つの家族と考えられています。アメリカは、“One Nation Under God”であり、お一人の神、あらゆる家族の父である神のもとに、互いが結ばれる「国家」として出発しました。アメリカの独立宣言は1776年にペンシルベニア州フィラデルフィアでの大陸会議で採択されました。この町の名前、「フィラデルフィア」は、聖書で「兄弟愛」を表すギリシャ語からとられました。建国の父たちは、あらゆる「家族」の父である神のもとで、互いに「兄弟愛」をもって受け入れ合い、尊重し合う「家族」としての国を作ろうとしましたが、それが「兄弟愛」という意味をもつ町で始まったのは意義深いことだと思います。

神の家族である教会も、それぞれの家庭も、また、アメリカという大きな家族も、神の愛と、キリストの恵みと、聖霊の交わりのもとに「一つ」とされること、それが私たちの祈り、願いです。

(祈り)

父なる神さま、あなたは、天と地にあるすべての「家族」の父です。あなたがお一人であるように、私たちをもあなたの家族として一つにしてください。そして、教会でも家庭でも、私たちが一つとなることによって、あなたの愛を証しする者となれますように。また、アメリカが、あなたのもとで、兄弟愛をもって一つとなることによって世界にあなたからの祝福を分かち合うものとなれますように。イエス・キリストのお名前です。